

平成29年度 上市高等学校アクションプラン 年度末評価 - 4 -		
① 重点項目	特別活動	
② 重点課題	学校行事の充実と積極的な参加 部活動やボランティア活動、異年齢交流を通しての学校生活の充実	
③ 現 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会執行部は活発だが、企画・運営に対する一般生徒の意識はそれほど高くない。</li> <li>・行事に参加はするものの、自分の役割を深く実感できない生徒が多く、満足感を得られていない一つの理由になっている。各種行事に対する満足度は72%である。</li> <li>・部登録はしているが活動していない生徒や、安易に退部したりする生徒も多く見られる。継続して部活動を続けている生徒は、全体の73%である。</li> <li>・ボランティア活動に興味を持つ生徒が多い。</li> </ul>	
④ 達成目標	① 行事への主体的参加率	② 部活継続率
	80%以上	75%以上
⑤ 方 策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会及び各種委員会と連携を図りながら、活動の輪をひろげる。</li> <li>・学園祭を始め、各行事には準備、当日を通して一人一役を目指し、全員参加とする。</li> <li>・部活動の必要性や魅力を知らせ、体力や技術、意識の向上とともに、人間的な成長と個性の伸長を実感させ、学校生活の充実を図る。</li> <li>・地域交流や校外外でのボランティア活動に対する広報活動を活発にし、参加していることへの自覚を深める。</li> </ul>	
⑥ 達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元ショッピングセンターを活用した各種情報発信を行うとともに、文化部を中心に作品展示や発表を行った。</li> <li>・校内行事については体育大会84.3%、マラソン大会90.7%、学園祭85.9%、平均<b>87.0%</b>の生徒が主体的に参加できたと答えていた。</li> <li>・12月末現在、ボランティアサポーター登録数65名（昨年度68名）、参加延べ人数145名（昨年度末212名）が校外ボランティアに参加し充実感を得ている。生徒たちの意識向上が見られる。</li> <li>・部活動の4月から12月にかけての継続率については、1・2年生で<b>約64.2%</b>が継続（継続しなかった者の中には登録のみで活動していない者も含む）している。</li> <li>・各種全国大会・北信越大会への参加者は、一昨年35名、昨年32名、本年度1月時点で43名と漸次増加している。</li> </ul>	
⑦ 具体的な取組状況	地域との交流として、地元ショッピングセンターを拠点とした活動発表を継続して実施した。内容は、演劇、吹奏楽演奏、合唱、ダンス、書道パフォーマンス、理科選択者による理科工作を実施した。いくつかの部は多方面から出演依頼を受け、地域に出かけ発表を行った。	
⑧ 評 価	A	D
⑨ 学校評議員の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動では、リーダー的存在として自主的に引っぱってもらっていると評価している。障がい者施設や子どもとの活動など今後も参加をお願いしたい。障がい者、高齢者に関わる仕事に魅力を感じ、将来の進路に活かしてほしい。</li> </ul>	
⑩次年度以降に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創立100周年記念事業で、生徒のパフォーマンスが計画されていることから、滑らかに準備作業を進める。</li> <li>・運動部、文化部に限らず、顧問の負担を考慮しつつも、活動の活性化を図る。エキスパートや外部コーチの活用を進める。</li> <li>・部活動のみならず多くの生徒が活躍できる環境作りに努める。</li> </ul>	

(評価基準 A: 達成した B: ほぼ達成した C: 現状のまま D: 後退した)